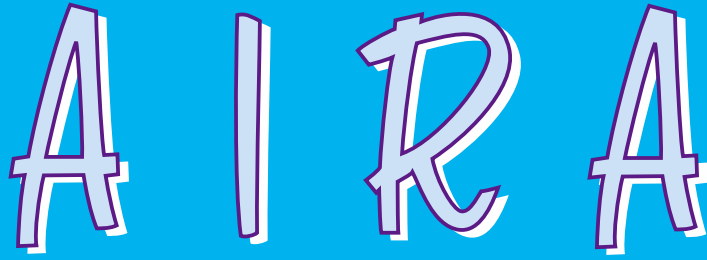


第64号  
2016年7月発行



ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION (我孫子市国際交流協会 TEL. 04-7183-1231)

## AIRA 外国語講座講師紹介

英語 中国語 フランス語 韓国語 スペイン語 ドイツ語

県内の国際交流団体で最多の語学講座数！

23年前の開講時、外国語講座は英語が2クラス、中国語が1クラスだけでした。その後、受講生の増加に伴いレベルが細分化され、今では27の講座と2つのサロンが自主運営されています。部屋の確保など受講生も大変ですが、素敵な先生のおかげで楽しく学ぶことができています。今回は私たちが大好きな先生たちに自己紹介していただきます。

### 英語

山口 千鶴 (日本) / 英会話 (入門A、入門B)



MY FAVORITES / The Shawshank Redemption and Back to the Future (movies), Daisuke Takahashi (figure skater), Hugh Grant (movie actor), Spitz (Japanese rock band), Tokyo Disney Sea, 和三盆ロール (cake roll from メヌエット, my favorite cake shop) and うなぎ (grilled freshwater eel served at 小暮や, my favorite unagi restaurant)

I also like trying new recipes (Now I'm into Thai cooking. Do you like nam pla and pak chee?). And my motto is "Do small things with great love." This is a quote by Mother Teresa. I'm glad to teach 英会話入門 again this year. Take it easy and let's talk a lot!

マイケル・テーラー (アメリカ)

/ 英会話 (初級 (日)・(火)、初中級 (土))



Hello. I'm Michael Taylor. My hometown is New Orleans, a very unique city on the lower Mississippi River in the southeastern state of Louisiana on the Gulf of Mexico. Not only is it interesting for its rich culture, diverse history and magnificent architecture, but also and especially for its Cajun, Creole, and French cuisine.

One of my favorite home-style Creole dishes is "Red Beans and Rice". (with New Orleans long-grained rice) The dish is served with red kidney beans, as well as pork, andouille sausage and lots of garden fresh herbs and spices. "Shrimp Etoufee", a Cajun dish, is also a favorite of mine since seafood is plentiful and cheap. I really enjoy cooking so on more than one occasion I have prepared such dishes for both friends and students at my home dinner parties when I lived in Abiko and now in Tsuchiura. Although in recent years much less than I would like to because of my work schedule.

「My favorite Japanese phrase is "dai-jo-bu ".When I was

not yet accustomed to manners at dinner party in Japan,I might make a some faux pass. Then, staffs and students called "dai-jo-bu "to me ,and I was relieved. Now, they are very close friends of mine.

When you will live abroad, I hope you will have same courtesy of "dai-jo-bu "from people there.」

Good luck and continue to study in earnest!  
Thank you,  
Michael

テリー・A サンダース (アメリカ)

/ 英会話 (初級 (火)、中級 (木))



皆さん こんにちは！ 私はテリー・アーサー・サンダース Terry Arthur Sanders、1996年以來日本に住んで、娘二人と孫が5人います。1960年にバンクーバーで米国人の父と日本人の母の間に生まれました。8才の時にオレゴン州からカリフォルニア州 Los Angeles カウンティのガルデナ市へ両親・二人の弟と共に移りました。

私は高校の時セミプロ小チームで野球をプレーしました。野球が好きで LA ドジャースと読売ジャイアンツの熱心なファンです。水泳や映画鑑賞も好きです。映画は三船敏郎主演、黒沢明監督の「用心棒」が好きです。

私の好きな言葉は、聖書「The Golden Rule 山上の垂訓」として知られる「何でも人にしてもらいたいと思うことは、その人にしなさい」です。行うことは容易ではないが難しくありません。もし、皆がこの様に行えば、世の中はもっと良くなるでしょう！

私の長所はオープンに話し聞くことで、楽しく愉快な時を過ごすように努めています。

私には幾つかのニックネームがあります。高校の野球チーム仲間が私を「KK」と呼びました。Kは三振です。私は一塁手でよく三振しました。それでこのニックネームがつけられました。さあ、私の自己紹介文が私の人柄について幾らかの背景を示せたことを願っています。皆さんが関心を持たれたことにお礼申し上げます。(和訳：編集部)

## リンドン・グリーン (イギリス)

／英会話 (初級 (日))



I'm Lyndon Green. I was born in Adelaide, Australia in 1950, and in 1951 my parents and I travelled by ship from Australia to England. The voyage took about six weeks but unfortunately I have no memory of it at all! We settled in England, so I regard England as my home country. I have a younger brother and sister, who were both born, and still live, in England.

When I was 13 years old I started to play the guitar. I practised hard every day because I wanted to become a professional musician. This dream was realised in 1969, when I was 19 years old. I joined a group called Tudor Lodge. There were three of us in the group: two guitarists and a lady flautist. We released one LP record in 1971 which is still available on CD. It has been issued in Japan many times.

I met a Japanese lady in Australia in 1996 and we moved to Japan in 1997. I became an English teacher the following year. We have two daughters: our elder daughter attends junior high school and our younger is in the sixth grade of elementary school. I enjoy eating Japanese food such as sushi, okonomiyaki and sukiyaki, but cannot eat natto! However, my favourite food in the world is meat pie and mashed potatoes from England.

As for hobbies, I collect books. I have about 2000 books on all subjects. I also love watching movies and particularly like Japanese horror movies, for example the Ju-on and the Ringu series. I like many different kinds of music, for example jazz, rock and indie.

I would like to continue to work as an English teacher for as long as possible. I intend to stay in Japan for the rest of my life.

## ジェイソン・ペッグ (アメリカ)

／英会話 (上級)



Hello, my name is Jason Pegg. I am from St. George, Utah in the U.S.A.

My hobby is playing Golf and I also enjoy graphic design and web design in my free time.

I also love sports, my favorite is Baseball. I am a big Los Angeles Dodgers fan and was so happy that they signed the Japanese pitcher Maeda Kenta to a contract this year.

My favorite food is Mexican food. I love tacos, burritos and other Mexican cuisine.

In my full time position I teach children. My favorite quote comes from Ignacio Estrada, "If a child can't learn the way we teach, maybe we should teach the way they learn..."

I believe everyone learns differently and excel in the right environment.

I'm looking forward to another great year with AIRA!

## 中国語

## 徐麗 Xu Li (中国)

／中国語会話 (入門)



中国大連出身です。大学で日本語を学び、日系企業の駐在員の方などに中国語を教えていました。結婚して日本に来て、日系企業で仕事をしたり、通訳などをしました。基礎から丁寧に教えています。“楽しく中国語を

学びましょう！”

(文：編集部作成。現在帰国中、秋には戻る予定です)

## 孫 勉 Sun Mian (中国)

／中国語会話 (初級B、初中級、中級)



私の姓名は孫 勉 (Sun Mian) です。姓の孫は日本でも良く知られている孫 文と同じです。名前の勉は日本では男性(「つとむ」他)に多いようですが、中国では女性の名前として珍しくありません。きっと、両親が「努力する立派な人になる」ことを願って命名したのでしょう・・・

私は中国の北京生まれ北京育ちですが、日本留学、日本企業勤務の為、日本で永年暮らしていますので、日本は私の第二の故郷だと思っています。

趣味は読書と書道であり、特に書道を生涯学習としてずっと続けて行きたいと思います。食べ物に対し特に好き嫌いはありませんが、特に日本の天麩羅が大好きです。

自分では内向的な性格とっており、相手を尊重しながら人付き合いをしております。最も好きな運動は歩きで、よく1分間で130歩ぐらいのスピード(時速5.5kmほど)でWalkingしています。

私が一番尊敬する人は中国の偉大な周恩來元総理です。人との関係に関しては、相手の立場に立って思いやりを持ちながらお付き合いすれば人間関係をうまく築けるのではないかと思います。

現在私はAIRAの中国語会話講座の講師を担当させていただいており、とても光栄なことと思います。中国語及び中国文化など中国の関連知識を多くの日本人にご理解頂ければとても嬉しいです。

## 張 華 Zhang Hua (中国) / 中国語会話 (中級、上級)



私の故郷は中国の東北、夏は涼しく短い、冬は寒く長い。日本に来たのは17年前、最初は横浜、次は徳島、今は我孫子、我孫子が一番長く、もう10年になる。きっと我孫子と相性がいいのだろう。最近では、気持ちに余裕ができ、自分の趣味に時間を費やすこともできるようになった。インターネットと交通が便利になり、片言の日本語でもコミュニケーションに支障がなくなったので、日本でも一人旅が可能になった。去年旅した松本、安曇野の風景は、写真にはもちろん、記憶にも鮮明に残っている。映画も見erようになった。仕事帰りにマクドナルドのハンバーガーを買って、「百円の恋」を見たのはつい最近のこと。青春時代に戻ったような気がした。おかげ様で、主人と娘に文句が少なくなったのではないかと勝手に思う。いつまで中国語講座を続けるかは分からないが、続く限りは楽しくやりたいと思う。

## フランス語

## ミシエル・ヒロカワ (フランス)

／フランス語会話 (初級、初中級、中級、上級)



高校の図書館で手にしてしまった一冊の本が、私の運命を変えた。ぱらぱらとページをめくると、一つの俳句が目にとまった。

“盗人に 取り残されし 窓の月” 良寛

こんなに悲惨な状態に置かれているのに、月の光に感動する！いったい日本人はどういう生き物なんだろう。どうしてこんな気持ちになれるのだろう。謎であるとともに強く心を打たれた。それから急に日本人である母の故郷に興味を持ち、パリで日本語を勉強し、夫に出会い、来日した。

正解だったのか・・・

最近、なんとなく日本人の感覚が分かるようになってきた。災害の多いこの国では、自然の美しさ、人の絆、その時、その瞬間の美しさを敏感に感じ取り、大切にしている。

潮風、太陽、グアバ、笑顔が私の子どもの頃の懐かしい香り・・・はい！生まれは天国が一番近い島、ニューカレドニア。カフェオレ、クロワッサン、メトロ、映画、シャンパンがパリ時代の懐かしい香り。ピレネー山脈、大西洋、親せきとバカンスの懐かしい香り。

人はどこで暮らしたのかで好きな香りが決まるみたい。

今は我孫子、AIRA、受講生の皆さん、家族、友達、笑い、読書、映画鑑賞が私の好きな香り。

父から受け継いだフランスの香りを日本でお伝えできたらうれしいな。

二つの文化に触れられたことに、両親に感謝。

あの時あの本を手にして良かったかも。

Le voleur

M'a tout emporté, sauf

La lune qui était à ma fenêtre.

Ryokan

## 韓国語

### 金 芝 男 (韓国)

／韓国語会話 (入門、初級 - I、初級 - II)



韓国語会話入門・初級を担当している金芝男(キム ジーナム)です。ソウル生まれソウル育ちの純ソウルっ子？です。

あだ名はアジュンマ(韓国語でおばさん)です。名前に“男”の漢字がありますが、女と分かるように！

韓国では証券会社で長年勤務しましたが、大学で習った日本語を生かした仕事をしたいと果敢に！辞めて日本関係の仕事に就きました。その時知り合った会社の招待で二年間の約束で来日することに。が、日本の生活にすっかりはまって、とても楽しくて。また今の夫と出会って日本に残ることに決心。

親の戸惑いの中、また勇敢に！国際結婚をして。夫と海外生活も経験し、10年前に我孫子に来て初めて韓国語講師の仕事を始めました。皆と韓国に関する話も出来て楽しいです。

仕事が終わるとジムで汗を流すのが大好きです。また宮部みゆきの江戸時代の小説にはまっています。

### 金 南 淑 (韓国)

／韓国語会話 (初級、中級)



アンニョンハセヨ！

私は韓国プサン出身のキム・ナムスクです。

言語も文化も違う日本に来て、はじめは戸惑いもありましたが、今はその違いを肌で感じながら日々の生活を楽しんでいます。

ここで簡単に自己紹介をさせていただきます。

性格：楽天的で明るい・・・でも少しせっかちです。

好きな食べ物：焼き鳥(皮、砂肝)、漬物(秩父の杓子菜がすきです)

趣味：緑や水いっぱいの自然の中を歩くこと、古い着物集め(色や柄がとても綺麗で大好きです)

好きな言葉：一期一会

今後したいこと：京都は2回くらい旅行していますが、もう一度隅々まで歩き回ってみたいです。勿論そこで漬物も満喫したいです！

これからも日本の自然、街、グルメを存分に楽しみたいと思います！

## スペイン語

### 村井・エレナ (コロンビア) / スペイン語会話 (初中級)



私は村井エレナです。コロンビアの常春の都市メデジン出身です。仕事でコロンビアに来ていた主人と結婚を機に日本に来て28年になります。子供は二人で、息子と娘がいます。10年前からスペイン語の先生をしています。AIRAでは3年目になります。ボランティア活動も6年前から参加し、ラテンアメリカの人を対象とした「いのちの電話」で、外国人相談を4年間しました。2年前からは、メディカルセンターからの依頼で、患者さんの言語が分かる病院の紹介や、電話を通して病院と患者さんの通訳もします。

休日は切り絵とモザイクアートを楽しんでいます。四季ごとの“色”を見るのが好きなので、毎日犬のヴァンダムと近くのお寺や手賀沼を散歩しています。お寺が好きで成田山へも出かけます。私と一緒に楽しくスペイン語を勉強しましょう。

## サロン



「サロン」は講座開講に向けて試行中です。お茶とお菓を用意してテーマを話し合います。

### ヨーグ・ロス (ドイツ)

／ドイツ語サロン



Joerg Roth (ヨーグ ロス) です。ドイツ、シュツットガルト出身です。ドイツや米国で金融関係の会社に勤めたあと、4年前に来日しました。現在都内の銀行に勤務しています。日本人の妻と子供2人で、我孫子市内に住んでいます。サロン形式で一緒にドイツ語を学びましょう。

### エナ・サノ (エルサルバドル)

／スペイン語サロン



名前は、佐野エナです。中央アメリカにある小さな国エルサルバドル (El Salvador) 生まれです。温かい国なので、日本に来たとき、11月の終わりはとっても寒かった(1988年)。以来28年になります。

趣味は、読書、映画を見ることです。また、友だちを作ることはそれ以上好きです。一緒にスペイン語を学びませんか？

★各講座の詳細はHPをご覧ください  
★各クラスまだ若干空きがあります  
お問い合わせは事務局まで

# 2016年度 総会の開催



山中さん

日 時：2016年5月7日（土）13：00～15：00

場 所：あびこ市民プラザ 多目的ホール

司 会：足達法子総務部会長

開会の言葉：山中韻晶（マレーシア出身、日本語教室生徒）

出席者：AIRA 会長（菅野哲哉）、名誉会長（星野順一郎市長）、

顧問（坂巻宗男我孫子市議会議長）、賛助会員、AIRA 理事・会員 計 57 名



議長

新旧の議長交代

5月7日に2016年度の我孫子市国際交流協会の総会が開催されました。菅野会長、星野名誉会長及び坂巻顧問からそれぞれ挨拶がありました。

星野市長からは、AIRA が内閣府の“チャイルド・ユースサポート章”を受けたことは、緻密な活動の成果の表れである、と活動への謝意が述べられました。

その内容は次のとおりです。

## 議案第1号 2015年度事業報告について

2015年度実施した事業について報告がありました。主な内容は、日本語指導のための学校派遣事業等子どもや若者の育成指導活動により平成27年度「チャイルド・ユースサポート章」（内閣府）を受章したこと、高額な備品購入のために設けられてきた「償却備品積立金」が当面必要性がないため事業会計へ繰り入れることとしたこと、財政面の安定化等を図り事業継続のために新たに「事業継続積立金」を新設したこと、北アリゾナ大学生の来日に伴う歓迎会の開催とホームステイの受入れ、などです。

## 議案第2号 2015年度収支決算について

外国語講座受講生の減による収入減とそれに伴う支出減や事務局員退職時の事務引継ぎに伴う賃金増など収支面で厳しさがあったが、支出の圧縮に努めました。



星野市長

理事の皆様、ボランティア部会長



総務部会長

## 議案第3号 理事・監事・役員について

理事28名中8名、監事2名中2名、計10名が交替しました。任期は2年間です。

新しい役員は、次のとおりです。

会 長	佐藤 英明	
副 会 長	北嶋 扶美子	村越 孝一
総務部会長	足達 法子	
広報部会長	中村 孝行	
交流部会長	早坂 満	
研修部会長	別府 宏一郎	
ボランティア部会長	艦 康彦	
会 計	井手口 起	依田 勇

（会長が代わりました。次ページに就任・退任の挨拶）

## 議案第4号 2016年度事業計画について

（次ページに掲載）

## 議案第5号 2016年度事業予算について

収入は、前年度からの繰越金が増えています。市からの委託金・補助金や外国語講座収入など、事業収入は昨年度と同じ規模で計上されています。

支出は、ホームページの改修費、「備品償却積立金」を今後多額な備品購入が予定されないことから取り崩す（事業収入に計上）、AIRAの財政基盤の安定化と事業の継続性を保つために「事業継続積立金」を新設など、それぞれ計上されています。事業全体の支出は前年度と同じ規模で計上されています。

質疑では、外国語講座について現在の5か国語以外の言語を増やせないか、会員増加策について、会員の活動状況等について意見がありました。実施策等について役員会で検討することになりました。

総会終了後、同所にて「交流パーティ」が開催され、柯美鈴 ke mei ling さんのキーボードによる懐かしいメロディーの演奏を聴きながら、また、4月14日にJCOM・TVのデイリーニュースで放映された「マレーシア料理で

国際交流」及び「チャイルド・ユースサポート章の受章」や「AIRAの一年の歩み（2015年4月～2016年3月）」の画像を見ながら、会員相互の親睦を深めました。

審議中の会場



# 事業計画

- 「第 25 回あびこ国際交流まつり」  
：11月27日（日）
- 「第 18 回国際交流スピーチ大会」  
：9月25日（日）
- 北アリゾナ大学生の我孫子市訪問に伴う支援：国際交流パーティの開催；6月4日（土）、ホームステイの受入れ（6月24日～6月27日）及び同報告会開催；6月27日（月）
- 「AIRA イブニングクラス（日本語）」 夜間の日本語教室を AIRA の事業として行う
- 「東葛地区国際交流協会連絡協議会」今年度は AIRA が幹事協会として開催  
：5月25日（水）及び12月16日（金）
- 「日本語の教え方講座」の開講（予定）
- 「留学生が先生！」プログラムの支援  
：今年度は13の小学校を対象に実施
- 外国語講座の開講：英語・中国語・フランス語・韓国語・スペイン語の5か国語26講座
- サロン形式によるドイツ語・スペイン語会話
- 日本語教室（火曜日クラス・土曜日クラス。火曜日クラスでは託児実施）
- 日本語指導のための学校派遣
- 国際交流バスツアー
- 外国人のための文化講座
- 通訳・翻訳サービス
- 外国人相談



柯美鈴さんのキーボード



交流パーティ懇談の様子



## 新会長就任のごあいさつ

会長 佐藤英明



当協会の発展に大きく貢献された菅野哲哉前会長の後任として、このたび会長に就任いたしました佐藤英明でございます。

1992年の設立以来、25年にわたってAIRAは市民レベルの国際親善に対する貢献を目的として活動してまいりました。我孫子市在住の外国人の方々を支援し、次の時代を担う児童、生徒、学生みなさんに国際交流の機会を提供し、各種の交流イベントを開催してきたほか、さまざまな事業に対する協力をおこなってまいりました。今後もこうした活動を継続するとともに、新たな国際交流活動にも取り組んでまいりたいと考えております。

AIRA創設以来、四半世紀の時を経てグローバル化が進むなかで、新しい時代に対応した国際交流のあり方が求められ、当協会に対してもますます大きな期待が寄せられています。今後も、我孫子市のご支援をいただきながら、会員ボランティアのみなさま、市民のみなさまのご協力のもと、地域における国際交流の発展に努めてまいりたいと思っております。引き続きみなさまのあたたかいご支援、ご協力をお願いいたします。

AIRA創設以来、四半世紀の時を経てグローバル化が進むなかで、新しい時代に対応した国際交流のあり方が求められ、当協会に対してもますます大きな期待が寄せられています。今後も、我孫子市のご支援をいただきながら、会員ボランティアのみなさま、市民のみなさまのご協力のもと、地域における国際交流の発展に努めてまいりたいと思っております。引き続きみなさまのあたたかいご支援、ご協力をお願いいたします。

## 会長退任のごあいさつ

前会長 菅野哲哉



ふとしたことから15年前に国際交流事業を推進するAIRAの存在を知って以来、私は語学講座や恒例の国際交流まつりなど様々なイベントに参加して多くの市民と知り合うことが出来ました。

AIRAは平成4年（1992年）11月の創設から今年で25周年を迎えることとなります。発足以来、日本語教室をはじめ、交流まつり、バスツアー、国際スピーチ大会、異文化理解講座など、在住外国人を交えた様々な交流の場を作り出し、歴代ボランティアの皆様の献身的な活動により、多岐にわたるAIRA諸活動を推進させてきました。その結果、我孫子市や国からも評価されてきています。これからも国際交流事業を担うAIRAがさらに市民のなかに浸透し、より多くの市民の参加につながることを願っています。

この2年間微力ではありましたが皆様のご支援とご協力でAIRAの事業発展に少しは尽くすことができたかと思ひ心より感謝しております。後任の中央学院大学学長の佐藤英明様よろしくごお願い致します。私は今後ともAIRAの安定的運営に向けできる限り支援を継続していきたいと考えております。

# 学校派遣日本語指導が平成 27 年度内閣府の “チャイルド・ユースサポート章” 受章 !!

AIRA 副会長（学校派遣事業担当） 北嶋扶美子



5月17日の朝、メールを開くと「内閣府の受章、おめでとうございます」というメッセージが届いていました。数年前まで、役員会で一緒に活動していた方からでした。文面には、学校派遣日本語指導を始めた時のいきさつも書かれていました。

大きなきっかけがありました。2007年の1学期の終わりのことでした。外国から転居してきた市内の学校に編入するにあたって、日本語を学びたいという生徒と指導を熱望する保護者がAIRAを訪ねて来ました。日本語が分からない子どもが日本の学校で学ぶには、日本語の習得がどんなに必要かということをやつと訴えられました。日本語教室の先生方のご協力をいただき、夏休みに指導が行われました。2学期から通学する学校と話し合いをして、学校へ日本語の講師が出向き、同様に支援を必要とする在籍生徒1名と共に2名の生徒に対して卒業まで指導を続けました。夏休みから40回余りになりました。

他の学校でも同様なことで困っている子どもたちがいるはず。ある日、家庭の事情で日本に我孫子にやって来た子どもたち。言葉が分からず教室に居なければならない子どもたち。学校に日本語の先生が行き、子どもたちに日本語の指導が出来るのではないかと。AIRAの日本語教室の指導者の方で担当していただける方がいらっしゃるのではないかと。役員会でAIRAの事業として実施を協議し、役員と日本語教室の先生方と話し合いをしました。AIRA内で話がまとまり、教育委員会に「学校派遣日本語指導」の協議を持ちかけ、同意を得られました。指導課の担当の方が「我孫子市日本語指導を必要とする児童・生徒に対する我孫子市国際交流協会（AIRA）との指導者派遣（要項）」を作成くださり、AIRAでも「AIRA学校派遣・日本語指導ボランティア心得」を2008年6月23日に作成して、この事業がスタートしました。

これまでの指導を振り返ると、2007年度の支援児童生徒2名40回、2008年度7名334回、2009年度9名287回、2010年度18名292回、2011年度7名301回、2012年度7名249回、2013年度4名183回、2014年度4名211回、2015年度6名250回（回数：長期休暇中の支援、日本語教室の受講も含む）です。今年度は現在5名に支援しています。子ども一人に1、2名の講師が指導します。

学校から教育委員会に日本語指導の申請が出されAIRAに派遣の要請が入ります。指導は「取り出し授業」で行われますが、子どもの事情によっては「放課後指導」もあります。子どもは国語や社会の授業時間に、別室にて「1対1」で日本語を学習します。標準的なテキストがあります

が、講師の皆さんが子どもに合わせて「手作りの教材」で指導しているのが現状です。毎回の指導の様子を記入した指導記録のファイルを職員室に置き、担任の先生にも目を通していただき共通理解を図っています。また、土曜日の日本語教室やイブニングクラスに通い学ぶ子どもたちもいます。

子どもたちは一人ひとり生活環境が異なります。これまでの教育環境も母語も多様です。「宿題って?」「家庭学習って?」「お掃除って?」「体育って?」など学校生活でも分からないことばかり。学校は、年間を通して沢山の行事があります。部活動もあります。クラスでは皆さん「Welcome」な気持ちで迎えてくれますが、言葉が分からずに文化の違う世界に飛び込んだ子どもたちは、さぞかし大きな戸惑いの中にいることだろうと想像します。

毎月の「学派定例会議」では、指導の報告や指導方法等に関する話し合いなどを行い、より良い指導を目指し悩みなどの思いも共有しています。スタート時は「サバイバル日本語」ということで、クラスで生活できる程度を指導終了の目安にしていました。しかし、数年経過後に学年が上がるにつれて「日本語力」が十分でなく学習に支障があるという声が聞こえてきました。定例会で話し合いを重ね、「子どもに応じた指導」とし、学校や家庭での状況も考慮して多様な指導内容になりました。講師の皆さんが外部で得た研修内容や学習資料、教材を提供し合うなど、「子どものために」と相互に指導力の向上に努めている姿には胸を打たれます。担当していない子どもの成長もメンバーの喜びになります。教育委員会と合同会議を行い、AIRA・学校・教育委員会で子どもの様子や指導について理解し合うことを大切にしています。

この記事を書くにあたり、学派の講師の皆さんに「声」を寄せてくださいとお願いしたところ、感想が寄せられました。

●「外国につながる子どもたちとともに」両親に連れられ来日した

子どもの通訳として学校に通ったことがあります。市民プラザで和式トイレの使い方の練習をし、近所の人から頂いたランドセルに、買い揃えてもらった学用品をつめて張り切って登校した初日のこと。朝の会の諸連絡が終わった途端、ガバツと机にうつ伏して「な～にもわからない!」と目から大粒の涙があふれました。係り決めで学級委員の仕事の説明をしたら、「やりたい!」と手を上げました。それから1学期間、このクラスは日本語ゼロの学級委員を支援してしっかりまとまっていきました。担任の先生の理解があって「日本語指導」の時間を頂けました。お別れ会で「彼が日本語がしゃべれるようになったから通訳の仕事がなくなったのですね」というかわいいお手紙をもらいました。

当時から我孫子市には通訳制度がありました。その後念願の「学校での日本語指導」という支援が AIRA「学校派遣日本語指導」という形で産声をあげました。嬉しいかぎりです。

教室を抜け出し下駄箱の所で私が着くのを待っていた子。自分が何々国人と言いながら、その国に一度も行ったことが無いという子。「日本語の勉強を始めましょう」に「日本語ってなあに？」と訊く子。どの子にも少しでも早く日本語が分かる様になってほしいといろいろ工夫をしたつもりでも、十分なことができなくてゴメンナサイ。

●親の都合で人生の進路変更を余儀なくされた子どもたちに日本語の支援をしていますが、子どもなりに苦労や悩みがあります。私達は問題の解決はできないまでも、親でも先生でも友達でもなく、じっくり話を聞く親戚のオバサンでありたいと思っています。子どもたちが楽しく学校生活を送り日本に来てよかったと思えるよう切に願っています。

●「超」「やばい」「うざい」は、教えていないのにすぐに使えるようになる日本語です。そんな子どもたちですが、ほとんどが親の都合で連れてこられているのが現状です。来たいわけではなく来た日本のことを子どもなりに少しずつ理解して、少しずつ受け入れていこうとする姿を見ると、応援したい気持ちでいっぱいになります。日本での楽しい思い出が1つでも多くできるように、今後も寄り添ってあげたいと思います。

●私が日本語支援した子どもたちは、高学年の子と、小一の子です。どちらの子どもたちも最初はこちらを探ったり、ふざけたり、はぐらかしたりして、勉強しませんでした。回数を重ねるにつれ、日本語の勉強の大切さを何となく理解してくれて、進んで読み書き練習をしたり、自分の事を楽しそうに話すようになったことが嬉しかったです。でも、二人とも、両親ともに日本人ではなく日本語は学校と日本語支援のみでしたので、そのような中で日本語を覚えるのは、こちらが思っている以上に、大変なことだろうなあと考えさせられました。

とくに、大きくなってから外国の学校で勉強する子にとっては、まず、先生や友達とうまくコミュニケーションが取れないと、なかなか学校にもなじめないし、勉強どころではないのかもしれないと思いました。日本語での日常会話がある程度出来ているか、いないかは、それからの学校生活を大きく左右させるのだなど、後から思い返しています。

●これまでに、タイ、中国、フィリピンの小・中学生をみてきました。各々、境遇も異なりますが、両親ともに外国人の子どもは、両親の日本の文化や生活習慣への理解も乏しく、何もわからないままに日本の学校に入り、不安やとまどいや緊張の中で学校生活を過ごしています。学校にすぐに馴染める子、馴染めず思うようにならないことに戸惑う子。いろいろな子どもたちがいますが、みな健気に、頑張っています。日本の子どもたちと同程度の勉強ができるようになるのはとても難しく、大変な努力が必要です。

その第一歩として、日本のことや、日本語が理解できるように、日本を好きになってもらえるように、この学校派遣の活動が少しでも役に立てばと思っています。

子どもたちに向き合っている講師の方々のことばをお伝えできました。皆さんの温かいお気持ちが胸に染みます。一人ひとりが日本で生き抜いて欲しい、という願いが伝わってきます。祈りの思いを持って子どもたちに接して下さっています。

2016年3月23日に内閣府の「チャイルドユースサポート章」の受章が決まったと、市役所企画課の AIRA 担当の職員から連絡がありました。受章決定まで2か月の間、その方が申請手続きなどを進めてくださったのです。自分たちに出来ることをとコツコツと続けてきましたが、それを推薦に値すると評価して下さったことは、この上もなく嬉しい事でした。4月13日に星野市長、青木副市長、倉部教育長ご同席のもと市長より授与していただきました。喜びと共に一層励まなければとの思いを心に刻みました。

学派講師の皆さんのことばにあるように、これからも子どもたちが「我孫子に来て良かった」と思える様な支援を続けていきます。

## あの日の豚汁

陸 菁 (りくせい) Lu Jing (中国出身)



2004年10月23日のことでした、もう12年前になります。その時、私は三歳の娘を連れて、日本に来たばかり。人に会うと「こんにちは」も言えない、スーパーに行くとき「いらっしゃいませ」も分らない。あの時ほど心細いものはないです。

前日の夕方、娘と二人で家に居る時、突然、家が大きく揺れ始めました、まるで船が大きな波の中で揺れているようでした。娘を抱いて、怖くて怖くて、足も動かせません。近所の人たちが外にいっぱいいるような話声を聴いて、外に出ました。みんながしゃがんでいるので、私もまねしてしゃがんでいました。床はまた何回も揺れていました。あの夜、どうやって過ごしたか不思議にもう忘れてしまいました。人生で初めての大地震後の夜、しかも最大震度7を記録した新潟県中越地震でした。怖くて怖くて、でも、その夜のことは、何故か忘れませんでした。

よく覚えているのは翌日のことでした。翌日、みんなと一緒にある所に行きました。外で棚を張って、ちょっと椅子とテーブルを並べて、ご飯を作っている処でした。みんなにおにぎりや温かい豚汁を配っていました。におにぎりや温かい豚汁を手を持った時、思わず涙が出ました。椅子に座って、温かい豚汁を口の中に入れて、あの温かさは胸の中に入ったように暖かかったです。涙も豚汁の中に落ちていました。こんな危ないとき、におにぎり、豚汁を食べられる！しかも温かい豚汁！あの2004年10月24日！

心細い自分、日本にもうちょっと残るか国に帰るか、色々悩んでいました。大地震が怖くて怖くて、帰ろう帰ろうと思っていました。でも、あの暖かい豚汁に、ここは冬にも、大地震にも、温かいところだと思いました。

今、もう2016年、私はいろいろな日本の温かさのおかげで、毎日微笑むことができます。子供たちは学校で日本の行事を習い、その風習をやりたがります。恵方巻、七草粥、、、、故郷の風習を加えて、忙しいです。忙しいけれど、家族で食べる時に幸福だなと感じます。

## イベントスタッフ募集

AIRA の下記の事業についてスタッフを募集しています。

- スピーチ大会 開催日 9月25日(日)
- あびこ国際まつり 開催日11月27日(日)  
(まつり実行委員として参画をお願いします)

## にほんごの教え方講座9月から開講

外国人の方に日本語で日本語を教える講師養成のための講座。

9月20日(火)からスタート。回数20回

会場:中央学院大学 講師:椿 文緒先生他

(インターカルト日本語学校・日本語教員養成研究所講師)

FAX、E-mailで受け付けます。

## 2016 東葛地区国際交流協会連絡協議会(第1回)報告

日時:2016年5月25日(水) 14:00~16:00

場所:あびこ市民プラザ 会議室1

出席者:柏市 KIRA(中山会長、寺澤)、流山市 NIFA(杉浦会長、小谷副会長、中橋事務局長)、野田市 NIA(酒井会長、渋井副会長、大川事務局長)、我孫子市 AIRA(北嶋副会長、中村広報部会長、別府研修部会長、艦ボランティア部会長、坂詰) 計13名

今年度は AIRA が当番協会となり、あびこ市民プラザにて開催されました。協議の内容は各協会の平成27年度の活動報告及び平成28年度の活動計画についての報告です。

KIRA では、今年度から柏駅東口のパレット柏3階に事務所移転するとともに、当該施設内に設置された「柏市国際交流センター」の指定管理者となり、事務が大幅に変更になったこと等が報告されました。

AIRA でも、「チャイルド・ユースサポート章」(内閣府)受章について等活動報告と平成28年度の活動計画を報告しました。

その他、各協会から日本語教室の開催状況、外国語講座の開催状況、外国人会員の加入取り組み、翻訳・通訳実施についてやスタッフ募集・会員の活動参加にむけた取り組み策、などの活動報告及び活動計画について報告があり、意見交換をしました。

各協会の組織形態や地域・置かれた状況等が異なりますが、各協会の活動は AIRA にとってもとても参考になるものでした。次回は、12月に開催する予定です。

## 書損じハガキご協力のお礼

12月~2月までのキャンペーン期間中に、市内の公共施設の回収箱及び事務局にご持参くださいました書損じハガキは、1,234枚で、54,986円分の切手と交換でき、ユネスコの寺子屋活動にお送りいたしました。AIRA事務局とインフォメーションセンター(アビシルベ)には常時回収箱を設置しています。私たちに出来る小さな活動を引き続きご協力をお願い致します。

## 翻訳・通訳ボランティア登録のお願い

市や公共団体、グループや個人から依頼の翻訳や、通訳について登録して下さるスタッフを募集しています。外国からのお客様や、外国人の体験入学等の学校での通訳、国際的なイベント時の通訳等があります。英語、中国語、韓国語、スペイン語等、どの言語での登録も結構です。

## 翻訳学習会開催

日時:8月20日(土) 13:30~15:30

会場:市民プラザ会議室1

講師:グレッグ ゲッザン氏(米国)

## 編集後記

近年我孫子市内の人口は減少していますが、外国人は増加傾向にあります。外国人が市内に“住み、学び、働く”など生活面でのフォロー活動を目的とする AIRA の役割が今後も増えてくるでしょう。今号に掲載された学派的講師の皆さんの活躍による受章や陸菁 lu jing さんの大地震後に経験した日本人の親切心に触れた体験記事は、私たちの活動の重要性を再確認しました。また、今春、日本語教室で学ぶ受講生が高校に入学しました。受験を経ての合格入学に、生徒の努力は勿論ですが、励まし、支えたボランティア講師の活動が光ります。

今号では、外国語学習を生涯学習の一環としても受講するきっかけになればと外国語講座の講師紹介をしました。皆さん、学び&ボランティア活動に参加しませんか!  
【中村】



我孫子市国際交流協会 ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION

〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子 4-11-1 あびこ市民プラザ内 土・日も開いています(木曜定休)

Tel: 04-7183-1231 Fax:04-7183-2005 URL: <http://www.e-aira.jp> E-mail: [info@e-aira.jp](mailto:info@e-aira.jp)